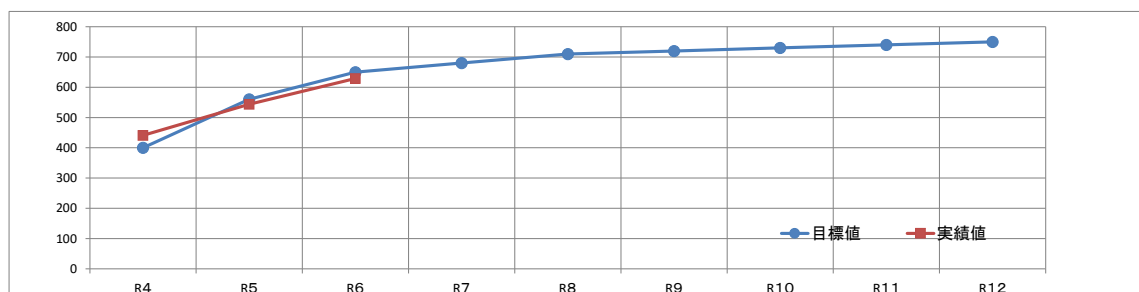


【指標の評価方法】 A:100%以上 B:99~80% C:79~70% D:69%以下

施策1 人生100年時代を生きる学びの推進

1 市町村生涯学習講座受講者数(人口千人当たり)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	400	560	650	680	710	720	730	740	750	B
実績値	441	544	629							
達成率	110%	97%	97%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

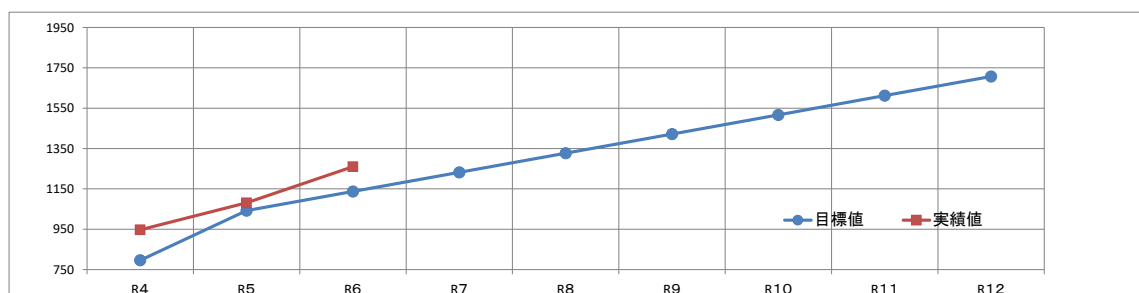


令和5年度と令和6年度の比較及び達成状況・要因	- 令和5年度は、コロナが5類感染症に位置づけられたことに伴い、行動制限が緩和され、県内各地において、それまで自粛や中止となっていた講座やイベントが再開し、コロナ禍であった令和4年度比で参加者数が約123%増加した。 - 令和6年度も令和5年度に引き続き、講座やイベントへの参加者数は伸び続け、令和5年度比の参加者数の増加率は117%であった。 - しかしながら、過去2年とも目標値には僅かに届かなかった。
今後の取組	- 福島県生涯学習情報提供サイト(ふくしまマナビ)から、県内各地で行われる講座やイベントの情報がタイムリーに発信されるよう、市町村をはじめ登録団体等へ情報の登録を呼びかける。 - ふくしまマナビから講座情報等を登録・発信する方々や、サイトから情報を入手する県民の方々の利便性向上につながるシステムの拡張及び改修等を行う。 - より県民のニーズに応じた講座が増えるよう、市町村の要請等に応じて講座を企画する際の資料提供や市町村訪問の機会などを設ける。

2 福島県次世代育成支援企業認証数

令和6年3月19日目標値上方修正

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	796	1042	1137	1232	1327	1422	1517	1612	1707	A
実績値	947	1,081	1,260							
達成率	119%	104%	111%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

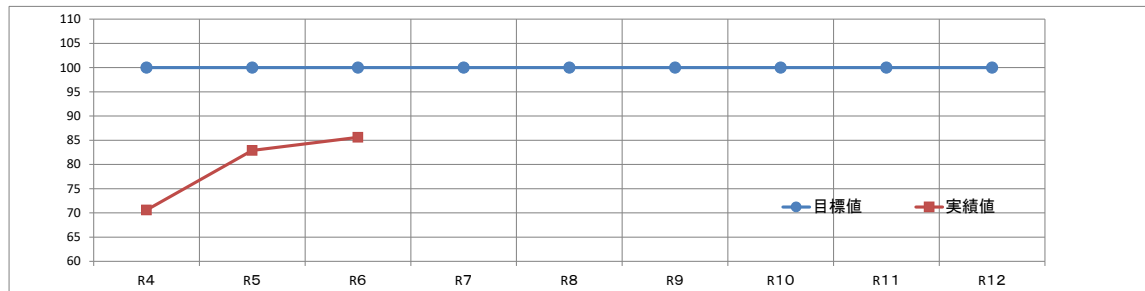


達成状況・要因	件数が伸びている要因として、入札時の加点メリットを背景とした建設事業者の申請、さらには育児・介護休業法の改正により、男性向けの新たな育児休業制度が制定されるなど、社会全体としてワーク・ライフ・バランスの重要性の認識が高まってきていることがある。
今後の取組	建設関係以外の業種の申請を進めるため、他業種の企業を訪問し、制度のPRを行うとともに、認証取得することで、活用できる「女性活躍・働き方改革支援奨励金」等の施策を併せてPRして認証の取得を促進する。

3 個別の教育支援計画の引継ぎ率

(%)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	B
実績値	70.6	82.9	85.6							
達成率	71%	83%	86%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

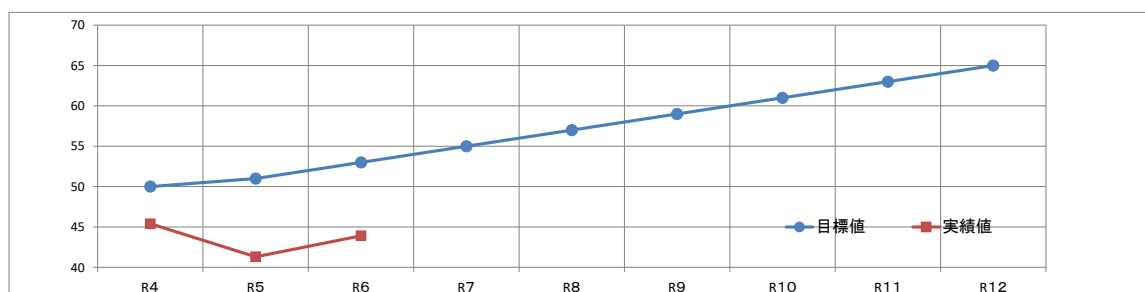


令和5年度と令和6年度の比較及び達成状況・要因	- 令和4年度まで、約3割が引き継がれていない要因として、個別の教育支援計画の作成に児童生徒本人及び保護者の同意や合意、参画が得られないケースがあった。特に小中学校の通常の学級に在籍する、支援の必要な児童生徒について、そのようなケースが見られた。そこで、令和5年度以降、各市町村教育委員会や各学校に対して、作成・活用の有効性等の具体例を示し、個別の教育支援計画の作成と活用の必要性を、様々な機会において周知を行ったことにより、令和6年度も、作成引き継ぎ率が向上した。 - 今後の課題としては、中学校から高校への引き継ぎ活用について、義務教育課及び高校教育課と特別支援教育課が連携しながら、目標値に向け、各校への周知等を継続し、取り組みを進めていくことが重要である。
今後の取組	- 個別の教育支援計画が教育的ニーズの把握と、子どもファーストの支援計画となるよう、作成と引き継ぎ活用のメリットを本人と保護者に丁寧に説明するよう、各種研修や支援をとおして、学校や市町村教育委員会への理解啓発を図っていく。 - 計画的に、地域の関係機関と情報交換や課題の共有、改善に向けた話し合いを実施し、連携した取組を行うようにする。 - 中高連携については、高校入学者選抜の合格発表後、中学校と高等学校間における個別の教育支援計画の情報共有と引き継ぎについて、必要に応じて実施されるよう全校へ周知を図っていく。

4 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率

* 参考：()は、「(スポーツ庁)体力・運動能力調査」の実績値 (%)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50	51	53	55	57	59	61	63	65	B
実績値	45.4 (52.8)	41.3 (47.8)	43.9 (51.4)							
達成率	91%	81%	83%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

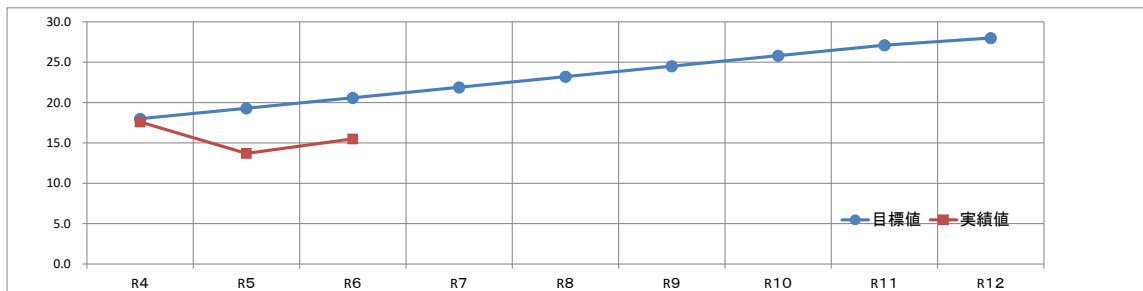


達成状況・要因	- 令和6年度は、各地で多くのスポーツイベントが開催され、県においても、それぞれのライフステージに応じたスポーツ機会の提供を行った。年度目標には達しなかったものの、実施率は昨年度を上回った。 - 実施率が増えた要因としては、スポーツの必要性に対する意識の向上や、気象庁の「熱中症アラート」発表が12回と前年度(19回)を下回ったことと、熱中症対策が進んだことなどが考えられる。 - 一方、年度目標に届かなかった一因として、働き世代、子育て世代における仕事や家事への負担感が挙げられる。
今後の取組	- 引き続き、各関係団体と連携し、スポーツイベントや体験教室等を開催するなど、様々なライフステージに応じたスポーツの機会提供を行っていくとともに、「忙しい時間がない」などの理由で運動・スポーツに費やす余暇時間が確保できない世代に対して、他部局や様々な団体と連携し、イベントや会議、PR活動等をおとして、短時間でも実施できる運動などへの働きかけを検討する。 - 身近な地域で運動・スポーツ活動に親しむことができるよう、各地域の課題の把握と地域間の連携促進を図る会議等を開催する。

施策2 地域づくりにつながる学びの推進

5 住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(意識調査) (%)

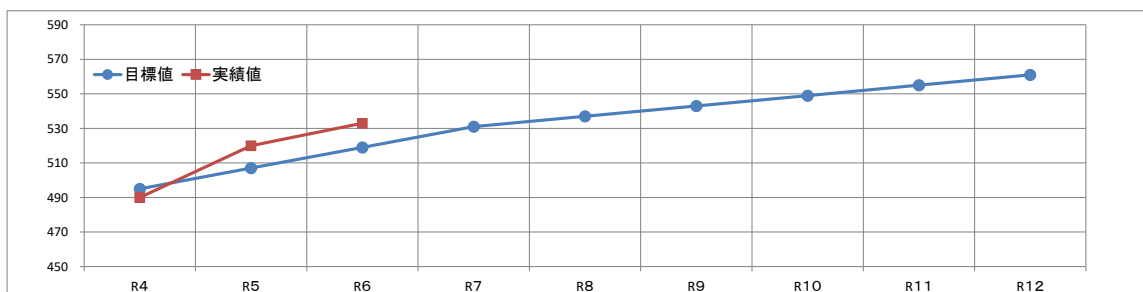
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	18.0	19.3	20.6	21.9	23.2	24.5	25.8	27.1	28.0	C
実績値	17.6	13.7	15.5							
達成率	98%	71%	75%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成状況・要因	・R6年度は、R5年度調査よりも実績値が若干伸びたが、人口減少、少子高齢化等により、地域活動の担い手不足が顕著であり、依然として地域活動への参加率は目標値よりも低い水準で推移している。 ・地域活動への参加が進まない要因として、子育てや家事、仕事等で時間の確保が難しいといった理由が挙げられる。一方、地域活動への参加のきっかけとしては、友人や地域の方の誘い、自分がやりたい活動だった、時間的な余裕ができたといった動機が働いている。
今後の取組	・県及び各市町村の生涯学習情報サイトや広報紙などをとおして、自分がやりたい活動が見つかるよう、ボランティアや地域活動等の生涯学習情報を積極的に発信していく。 ・社会教育担当者を対象とした研修会等の機会をとらえて、地域の人材養成や世代間交流等を目的とした講座の企画や運営の支援をしていく。 ・今後、地域住民の生涯学習推進の拠点施設等において、地域住民が地域活動に対する当事者意識を持つことができるよう、積極的に地域活動の情報提供に努める。

6 NPOやボランティアと県内自治体等との協働事業件数 (件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	495	507	519	531	537	543	549	555	561	A
実績値	490	520	533							
達成率	99%	103%	103%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

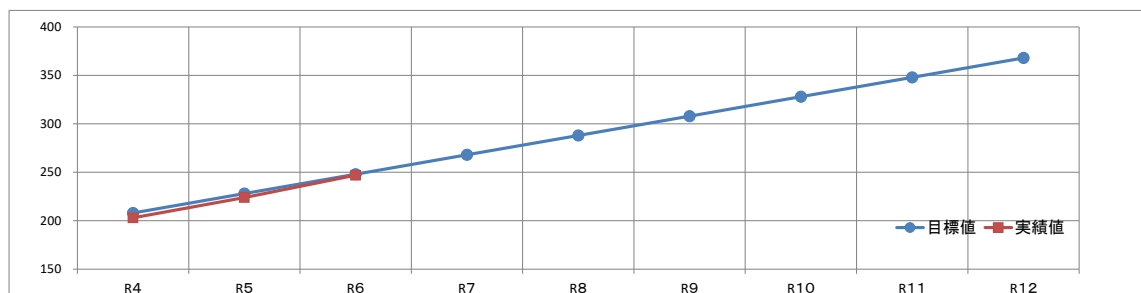


令和5年度と令和6年度の比較	・令和6年度は後援等、件数が減少した取組もあるが、事業協力(行政とNPO等が役割を分担して、特定の事業又は活動をとらえて行う(共催・委託事業以外))の件数が特に増加するなど、全体的な取組件数は令和5年度から増加した。
今後の取組	・NPOと企業等の協働を促進するため、引き続き、NPOと企業等との協働事業の成功事例の広報啓発や、マッチングの支援(NPOや企業へのヒアリング、情報提供、マッチングの機会提供、事業実現に向けた助言等)に取り組んでいく。

7 ふるさとの祭り参加民俗芸能団体数(累計)

(件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	208	228	248	268	288	308	328	348	368	B
実績値	203	224	247							
達成率	98%	98%	99%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

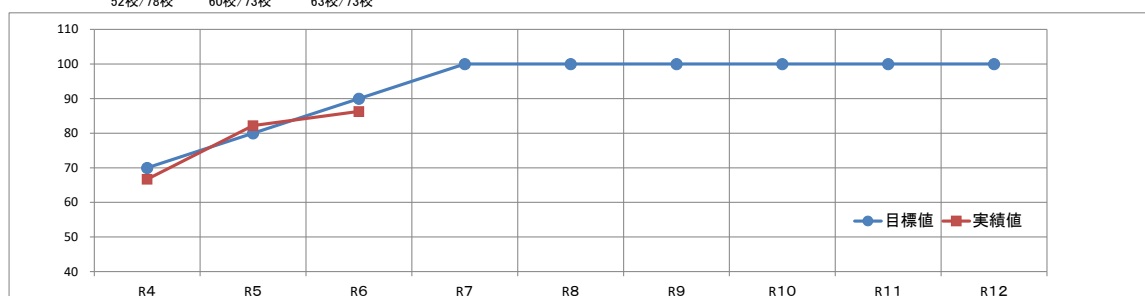


達成状況・要因	・「ふるさとの祭り」には、本体公演と出張公演があり、今年度は本体公演に19団体、出張公演に4団体、合計23団体が参加し、多くの観客の前で民俗芸能を披露いただいた。これにより、今年度までの累計参加団体数は247団体となり、概ね目標を達成した。
今後の取組	・引き続き、県内各地で開催される各種イベントにおいて、民俗芸能をより多くの県民に知ってもらう機会、芸能を披露する機会を確保する観点から、「ふくしまの祭り」として参加できるよう調整を進めていく。 ・担い手の確保のため、地域の移住者、定住者や県内外の大学生などが、民俗芸能団体との連携や活動の協力をしていく関係づくりに取り組んでいく。

施策3 東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

8 語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を実施した県内県立高校の割合 (%)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	70	80	90	100	100	100	100	100	100	B
実績値	66.7	82.2	86.3							
達成率	95%	103%	96%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



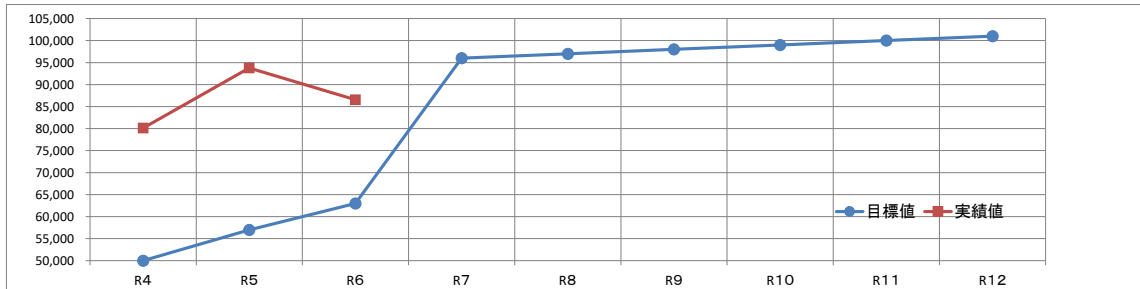
達成状況・要因	・各校における、地域課題探究学習の定着・拡充に伴い、多様なテーマによる地域課題探究活動が実践されており、震災に係る学習もその一環として行われるようになっている。 ・高校生語り部事業が周知され、事業の活用に積極的な学校も多いが、各学校における事業の継承や実践校数の伸び悩みが課題。
今後の取組	・従来から語り部事業に応募している学校が、今後も活動を継続できるよう関連する施策をとおして支援していく。 ・実践校への応募を促すために、学校間での震災・復興に関わる探究活動の情報交換の機会を充実させるとともに、活動内容の幅広い情報発信を推進していく。

9 東日本大震災・原子力災害伝承館
(1)来館者数

令和6年2月6日目標値上方修正

(人)

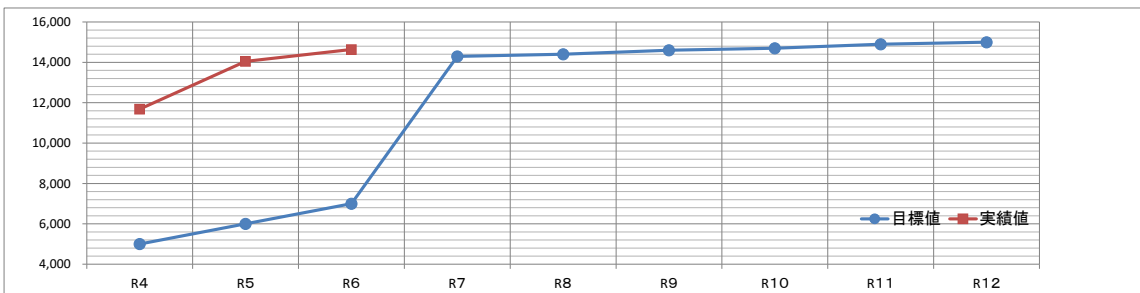
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50,000	57,000	63,000	96,000	97,000	98,000	99,000	100,000	101,000	A
実績値	80,119	93,759	86,551							
達成率	160%	164%	137%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2)研修参加者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	5,000	6,000	7,000	14,300	14,400	14,600	14,700	14,900	15,000	A
実績値	11,684	14,050	14,638							
達成率	234%	234%	209%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

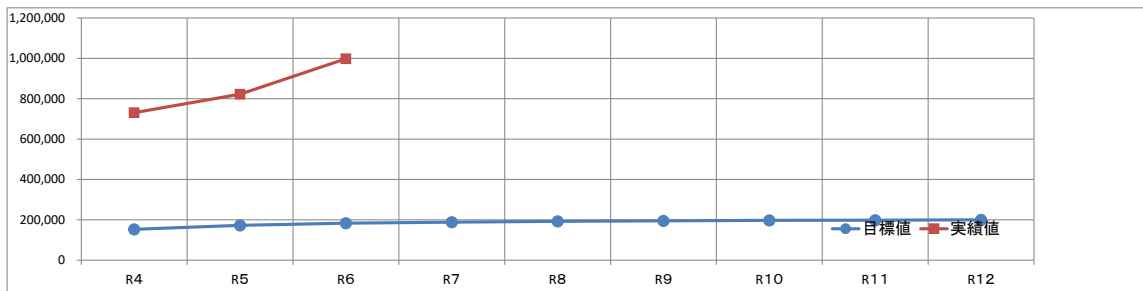


達成状況・要因	- 令和4年度以降、入館者数・研修参加者数のいずれも、目標値を上回って推移している。 - 令和6年度の入館者数としては、令和5年度比7,208人減となり、令和2年の開館以来初の前年度比減となった。 - 令和6年度の研修参加者数は、令和5年度比502人増となり増加傾向を維持している。 - 入館者は、特に一般来館者が減っていることから、新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなり訪問先が分散化したものと思われる。
今後の取組	- 県が推進するホープツーリズムの中核施設であり、「学びの施設」としての伝承館の質・魅力を向上させていくため、分かりやすい展示内容の更新、語り部の研修、魅力的な企画展やロビー展の開催に加え、研究事業とタイアップした研修プログラムの充実をはかる。 - イベントに併せたニュースリリースに加え、ホームページの充実やインターネット広告などにより、周知を図る。 「事前学習プログラム」も活用しながら、教育旅行の誘客活動を進めていく。

施策4 社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進

10 県民カレッジ受講者数

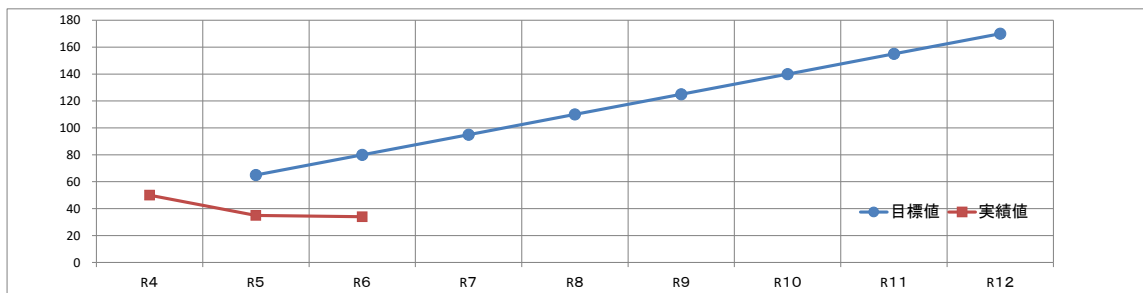
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	153,000	173,000	183,000	188,000	192,000	195,000	197,000	198,000	200,000	A
実績値	730,750	822,578	998,086							
達成率	478%	475%	545%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



令和5年度と 令和6年度の 比較	- 令和6年度は、令和5年度比で約121% (約175,000人) 増となった。増加分は、ほぼ市町村主催の県民カレッジ受講者数である。 - 令和6年度に開催された市町村主催の県民カレッジ講座・イベント数が、令和5年度比で30%増加しているのが増加の要因の1つと考えられる。
今後の取組	- 生涯学習推進庁内連絡会議を開催するなど、庁内関係部局課との連携を密にしながら、生涯学習関連事業(講座・イベント)の掘り起こしを行い、幅広い内容の講座やイベント、講師等の情報や生涯学習動画など、生涯学習に関する情報等の登録数を増やし、コンテンツを充実させていく。 - 市町村主催県民カレッジ講座(イベント)についても、市町村担当者研修会等の機会を捉え、ふくしまナビへの掲載の有効性を訴え、積極的な情報登録につなげる。

11 オンラインを活用した生涯学習講座数

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値		65	80	95	110	125	140	155	170	D
実績値	50	35	34							
達成率		54%	43%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

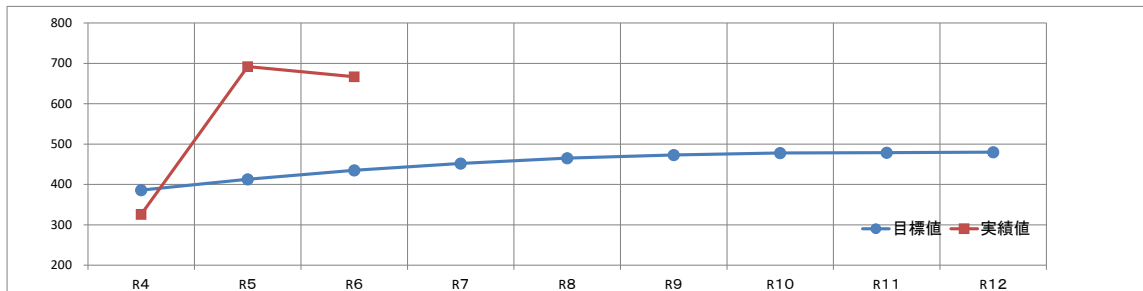


達成状況・要因	- 昨年度に引き続き、R6年度も、Zoomなどを活用したオンライン配信による講座数が年度目標値を下回った。各市町村においては、生涯学習振興計画等でオンライン講座に重点を置いているが、対面開催に比べて参加者が少ないといった現状が見られる。 - 要因としては、主催者、参加者ともに、ICTスキルや受信環境といった、人的・物的に解決すべき課題が残っている。また、主催する側には、学びを通して地域の繋がりを育てていきたいという目的があり、学ぶ側には、参加のきっかけとして、集うことへの喜びや楽しさ、新たな出会いを目的としている方が多いことが挙げられる。
今後の取組	- 交通手段がない、経済的困窮、身体的課題、時間的な余裕がない等、学びへの課題を抱えている方々に対して、学びを提供することができるよう、録画配信やハイブリッドでの開催等を、県として推奨していく。 - オンラインに適した講座を見極めながら積極的にDX化を推進していただけるよう、他市町村の先行事例等を、ふくしまナビや県のHP、広報紙等を通じた紹介、市町村の支援要請に応じた訪問などにより、オンライン活用を促進する。 - ふくしまナビを活用し、市町村及び県の施設等が作成した動画配信を供与する。 - 県のデジタルデバイス解消事業の活用により、地域のデジタルサポーターを育成しデジタル端末のスキルが身につく講座の開設につなげる。

12 学んだことをいかす機会が講座内に組み込まれている市町村生涯学習講座数

(件)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	386	413	435	452	465	473	478	479	480	A
実績値	326	692	667							
達成率	84%	168%	153%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



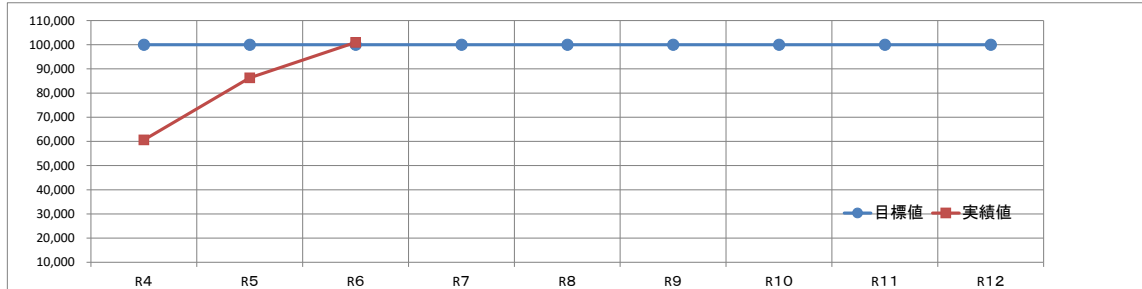
達成状況・要因	・令和5年度は、5月に行動制限が解除され、県内各地で講座・イベントが再開、講座・イベント数が増加に転じ、学んだことを活かせる発表の機会も一気に伸びた。 ・令和6年度は、前年度に比べてやや減少したが、目標値を大きく上回っている。 ・減少の要因としては、市町村による区分の見直しの結果が反映しているものと考えられる。
今後の取組	・市町村生涯学習担当者を対象とした研修会を他市町村の参考となる取組を紹介し合う情報交換の場とするとともに、研修を通して、成果発表の場をゴールに位置づけた講座を企画するよう働きかけを行う。 ・県内の優良事例を取り上げたニュースレターを発行し、学んだことをいかす取組を紹介していく。

13 県立美術館

(1) 入館者数

(人)

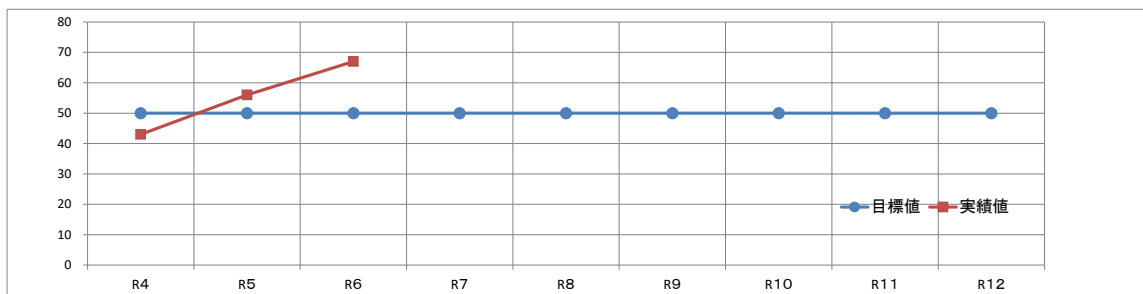
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	A
実績値	60,612	86,338	100,968							
達成率	61%	86%	101%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2) 講座数

(件)

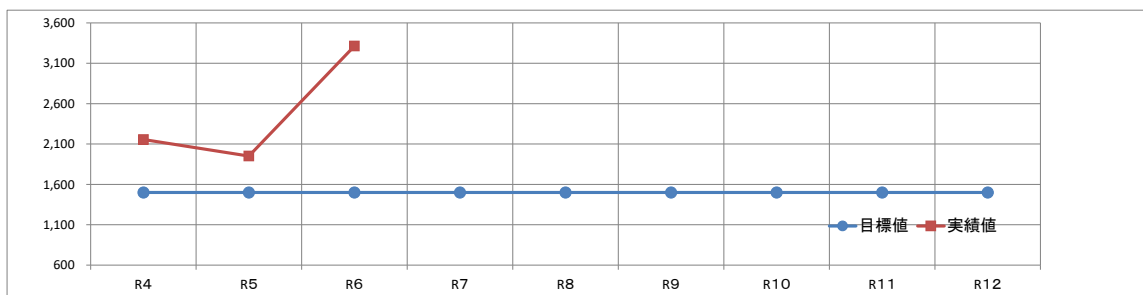
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	50	50	50	50	50	50	50	50	50	A
実績値	43	56	67							
達成率	86%	112%	134%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(3) 受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	A
実績値	2,157	1,951	3,314							
達成率	144%	130%	221%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



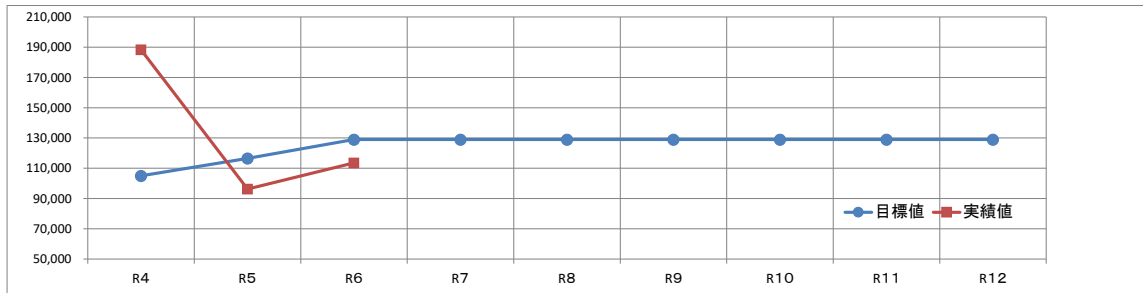
達成状況・要因	【入館者数】 - 令和6年度は、開館40周年記念事業として福島県ゆかりの美術家の展覧会や美術館の業務を紹介する企画展を開催したほか、魅力ある企画展や関連イベントの開催等により、入館者数が100,968人となり、10万人という目標を達成したところである。 - 広報のあり方も、幅広い世代に即時効果的に発信するため、SNS等を活用した情報発信を行っている。 【講座数及び受講者数】 - 令和6年度も前年度に引き続き、自由参加型の講座数増や常設展示のギャラリートーク開催等により、講座及び受講者数ともに、年度目標値を大きく上回り、特に受講者数は目標値の2倍以上となったところである。
今後の取組	- 県民等のニーズに即した大型企画展や自主企画展をバランスよく開催する。 - 様々な手段で企画展の内容があらゆる年齢層に伝わるように広報する。 - 団体の入館者数は上昇傾向にあるが、さらに増となる取り組みが必要である。 - 継続的に来館者の多様なニーズに対応できる様々な種類の講座の開催が必要である。

14 県立博物館

(1) 入館者数

(人)

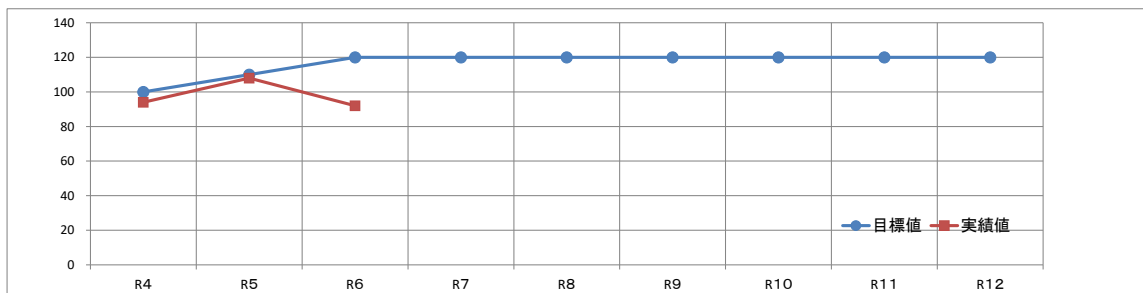
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	105,000	116,500	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	129,000	B
実績値	188,323	96,274	113,516							
達成率	179%	83%	88%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2) 講座数

(件)

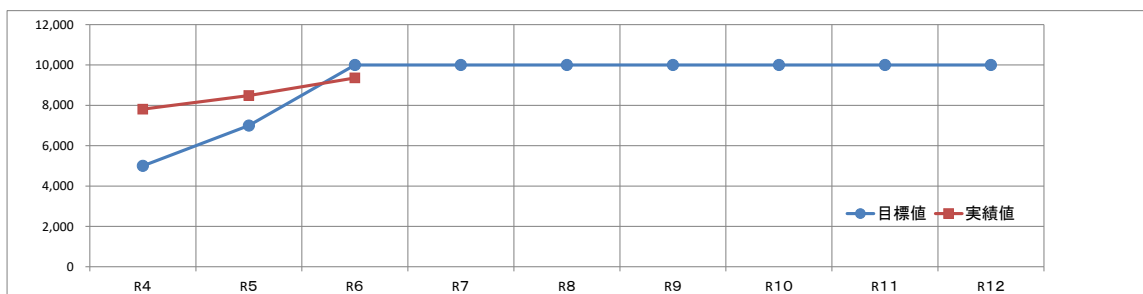
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	100	110	120	120	120	120	120	120	120	C
実績値	94	108	92							
達成率	94%	98%	77%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(3) 受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	5,000	7,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	B
実績値	7,810	8,485	9,357							
達成率	156%	121%	94%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



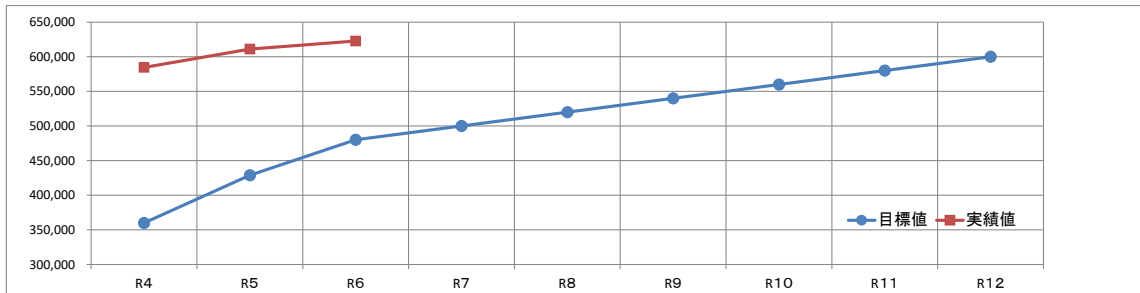
達成状況・要因	- 令和6年2月に排煙設備の不具合により、総合展示室を観覧休止としており、各学校の団体利用については、問い合わせの際に個別に事情を説明し、御理解いただいたうえで総合展示室以外の展示を観覧いただいていたが、展示室が使用できなかった影響により、例年に比べ、小中学校団体利用が減少するなど、特に学校教育活動における影響が大きい(令和6年度末の小中学校団体利用の実績はコロナ禍前の令和元年度と比較すると約68.6%)。 - 令和6年度は、自主開催のみの企画展であったことや、12月2日から年度末までトイレ改修工事による全館休館となったため、目標としていた入館者数に及ばず、未達成となった。 - 講座数及び受講者数については、総合展示室の観覧休止や12月からの休館の影響により、開催回数や受講者数の年度目標は未達成となった。
今後の取組	- 総合展示室の排煙窓は、令和7年2月に改修工事を完了し、建築基準法施行令第126条の2(排煙設備の設置)に適合したため、令和7年4月に全館の観覧再開することができた。 - トイレの洋式化、段差の解消などのトイレ改修工事についても令和7年3月に完了し、障がい者や乳幼児のいるファミリー層や高齢者も安心して観覧できる環境整備を行った。 - 展示室のサイン表示・解説等の多言語化、スマホ等で観覧や周遊のための情報を入手できるコンテンツ配信システムについて令和7年4月の全館観覧再開時から運用開始し、来館者の利便性向上と、インバウンド、外国語ユーザー増につなげていく。 - 三の丸からプロジェクトの成果継承や発展を目指し、関係機関と事業体制や取組内容について検討していく。

15 アクアマリンふくしま

(1) 入館者数

(人)

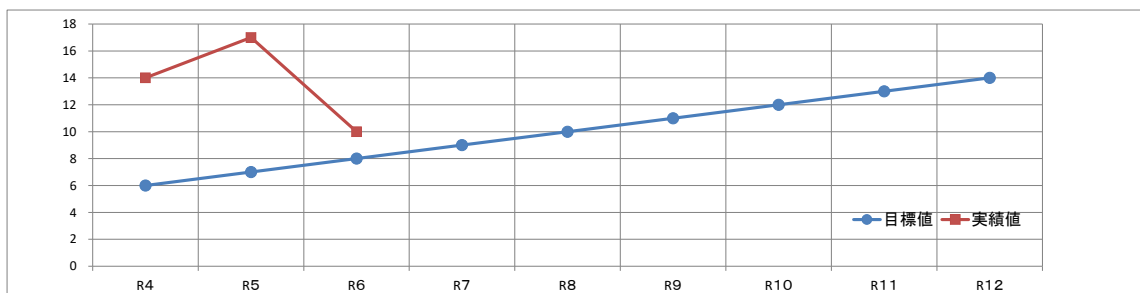
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	360,000	429,000	480,000	500,000	520,000	540,000	560,000	580,000	600,000	A
実績値	584,564	611,040	622,746							
達成率	162%	142%	130%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2) 講座数

(件)

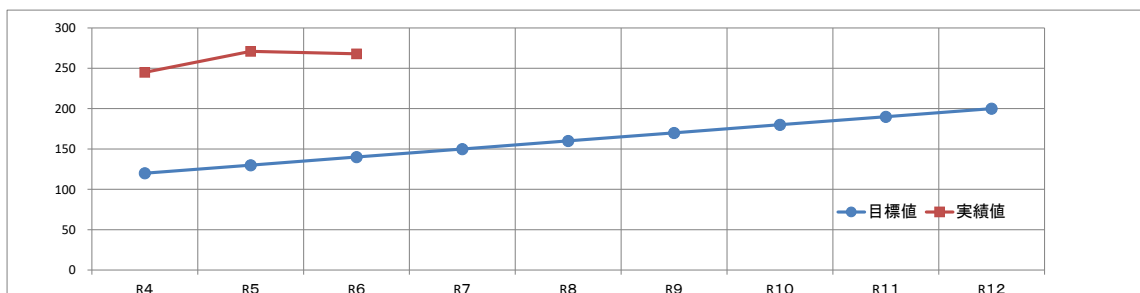
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	6	7	8	9	10	11	12	13	14	A
実績値	14	17	10							
達成率	233%	243%	125%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(3) 受講者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	120	130	140	150	160	170	180	190	200	A
実績値	245	271	268							
達成率	204%	208%	191%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



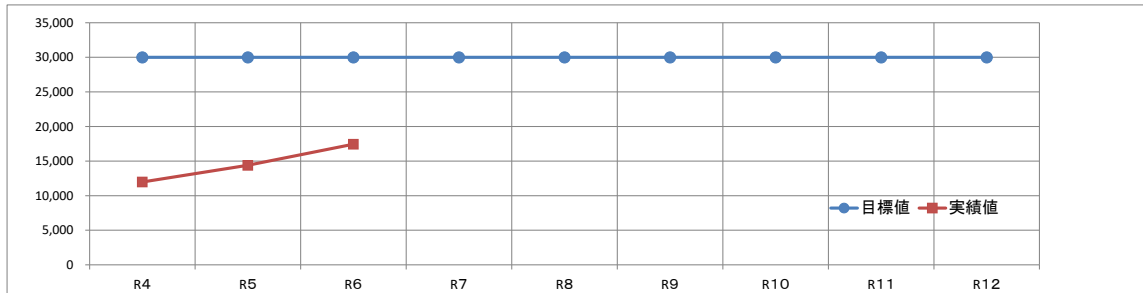
達成状況 ・要因	・R6年度の入館者数は、魅力的な企画展の開催、積極的な情報発信により伸び、目標を達成した。 ・スクール開催事業は、実施方法や回数、参加人数、広報などの見直しに加え、オンライン学習にも対応するなど内容をより魅力的なものとしたことで、受講者数は目標を達成した。
今後の取組	・リニューアルオープンした「わくわく・はじまりの森」などにより、引き続き、施設の魅力を向上させていく。 ・魅力ある企画開催事業を展開し、近隣施設と連携した情報発信を行っていく。 ・スクール開催事業は、見直し後の実施結果を踏まえ、より魅力的なものとなるようブラッシュアップしていく。 ・博物館法上の博物館として、学術的取組を始め、地域の観光・交流拠点としての役割を果たしていく。

16 県文化財センター白河館

(1) 入館者数

(人)

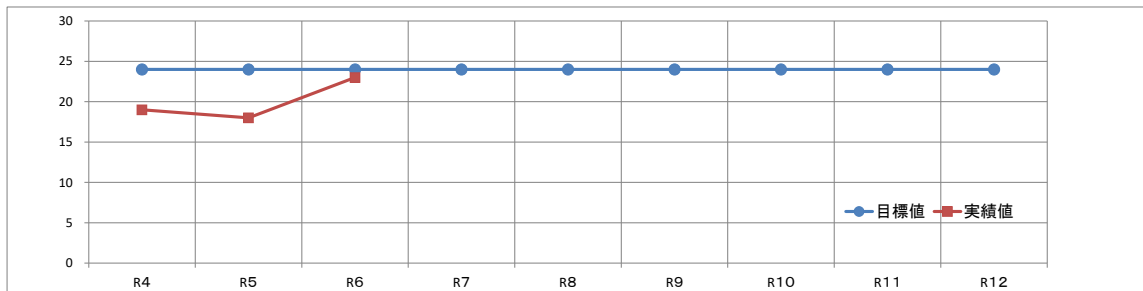
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	D
実績値	11,976	14,383	17,442							
達成率	40%	48%	58%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(2) 講座数

(件)

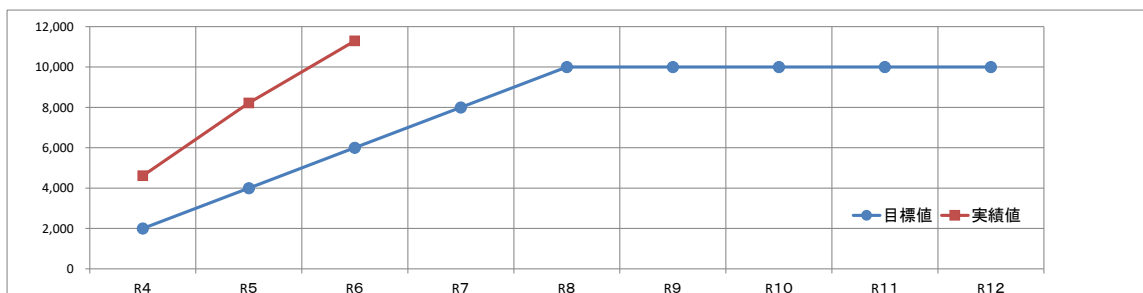
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	24	24	24	24	24	24	24	24	24	B
実績値	19	18	23							
達成率	79%	75%	96%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



(3) 体験者数

(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	評価
目標値	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	A
実績値	4,613	8,224	11,294							
達成率	231%	206%	188%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



達成状況 ・要因	・若年層を中心に多くの参加があったイベント「まほろん感謝デー」や、大きな歴史的価値があり県内外から注目されている遺跡である「前田遺跡」出土品の特別展示の取組により、新規入館者やリピーターの増加につながっていることが、入館者の感想からうかがえた。 ・コロナ禍による減少に加え、教職員の働き方改革やバス代補助の減少、教育カリキュラムの変更等も加わって厳しい状況が続いている。そのような中、今年度の入館者数は17,442名と、前年度に比して約3,000人増加しており、着実に入館者数は回復していると考えられる。
今後の取組	・入館者数の更なる増加に向けて、引き続き周辺部での取組である「おでかけまほろん」による文化財保存活用の啓発活動、発達段階や世代に応じたイベントや注目の遺跡に焦点を当てた特別展を企画立案し、実施していく。 ・HPでの発信やチラシ作成、学校への働きかけや他館との連携による移動展の開催など、広報活動への注力も入館者増加の一因となっていると考えられることから、今後も引き続き、幅広い年代に対して広報活動に力を入れていきたい。